

【最新刊のご案内】2021年10月下旬 発売

★武蔵野美術大学出版局★

アート [芸術評論] ご担当者 さまへ

TEL 0422-23-0810

東京都武蔵野市吉祥寺東町3-3-7

FAX 0422-22-8309

http://www.musabi.co.jp/



- 序章 観念と物質の乖離——アンチ・フォームと「もの派」
- 1章 イメージ批判の出発点——主体と客体の関係性の瓦解
- 2章 あらかじめ失われたものとしてのイメージ——中原佑介「見るということの意味」
- 3章 事物の傷痕と離人症——アジェとクラインをつなぐ写真実践
- 4章 反芸術論争の陥穽——模型千円札事件公判記録①
- 5章 芸術概念の解体へ——模型千円札事件公判記録②
- 6章 芸術に啓示を与える芸術——いまだ実現し得ぬ何ものか
- 7章 無芸術のユートピア——模型千円札からハプニングへ
- 8章 イメージを失くしモノと対峙する——李禹煥の概念芸術批判
- 9章 カメラはなんでも写る、映ってしまう——記憶と記録①
- 10章 ベンヤミン「複製技術論」を超えて——記憶と記録②
- 11章 なぜ写真=虚像に現実を感じるのか——闇に向かってシャッターを切る榎倉康二
- 12章 存在の亀裂のままに——物質との触覚的な出会いを求めて

反芸術からももの派まで。

一九七〇年前後のアートシーンにおいてあらわになった観念（イメージ）と物質（モノ）の抗争と対立を解き明かし、**「見るということ」をめぐる制作と批評の軌跡を新しい視点で読み解く**

2021年
10月下旬発売！

イメージか モノか

日本現代美術のアポリア

高島直之 著

定価：2,750 円

(本体 2,500 円 + 10%税)

A5判・上製・256頁

978-4-86463-129-7 C3070

2021年11月5日奥付

1960年から70年代にかけての 作品と当時の論考を繙き、現代日本美術の アポリア (解決が難しい問題) を論じる

中原佑介、W. ベンヤミン、中平卓馬、李 禹煥、関根伸夫、赤瀬川原平、高松次郎、中西夏之、G. バタイユ、M. デュシャン、刀根康尚、J. ケージ、森山大道、榎倉康二、栗田勇、R. モリス。彼らの批評と実践を検証し、作品とその背景にある思考を論じる。

お 申 込 先

お申し込み〆切日: **2021年10月7日(木)**

武蔵野美術大学出版局

TEL 0422-23-0810 東京・吉祥寺東町3-3-7 〒180-8566

FAX : 0422-22-8309

◎弊社取次会社は **日販・トーハン・楽天 BN** 様です。

★楽天 BN 様場合は「注文品」扱いとさせていただきます。

FAX 案内不要の際はたいへんお手数ですが、その旨ご一報ください。リスト削除にお時間がかかる場合がございます。なにとぞご容赦くださいますようお願いいたします。

高島直之 著

2021年10月28日 取次 搬入予定

イメージか モノか

日本現代美術のアポリア

定価：2,750 円 (本体 2,500 円 + 税)

ISBN978-4-86463-129-7 C3070 ¥2500 E

芸術の不可能性 あわせての展開をよろしく申し上げます

瀧口修造 中井正一 岡本太郎 針生一郎 中平卓馬

定価：2,640 円 (本体 2,400 円 + 税)

ISBN978-4-86463-063-4 C3070 ¥2400 E

同著者による
2017年の
好評既刊書！

販売条件

新刊委託

(締切後、注文扱い品)

★楽天 BN 様場合は注文品扱いとさせていただきます

申込数

番線印

冊

注文品

(返品了解付：イツチ)

*即日搬入可能です

冊

ご担当者様